

令和5年度 福島高校 学校通信 第1号



教育目標

校訓「正大・剛毅・優美」を胸に自己実現に向けて努力を重ねるとともに、身につけた豊かな人間力で社会に貢献する高い志を持つ人を育てる。

もちの木

令和5年5月1日発行
福岡県立福島高等学校
校長 石橋 のぞみ
担当 入試広報課

○入学式

令和5年4月7日（金）に本校体育館で、入学式が挙行されました。春の暖かい日差しの中、来賓の方にもご臨席頂き、真新しい制服を身につけた新入生152名は、期待に胸を膨らませつつ、緊張した面持ちで式に臨みました。

新入生代表の1年2組重松心結さんは、「伝統ある福島高校に入学した喜びとともに、校訓の正大・剛毅・優美の精神を心に刻み、これからの3年間、学習や部活動に精一杯取り組みます。そして、心豊かな社会人になれるよう、たゆまず努力します。」と決意を語りました。



○自立と協働を学ぶ体験活動

1年生

令和5年4月13日（木）、14日（金）の2日間で、自立と協働を学ぶ体験活動を実施しました。1日目は、校内でオリエンテーションや集団行動、校歌練習を行い、福高生としての心構えを身に付けました。コミュニケーションをとりながら、一生懸命動き、声を出し、クラスメイトとの仲を深めました。

2日目は、八女中央大茶園と岩戸山古墳に行き、高校生に必要な体力と気力を鍛えました。途中、雨が降り、コースを変更しましたが、1日目の疲れを感じさせない元気な姿で、完歩することができました。

体験活動を通して、全員が高校生として自立し、これからの学校生活における無限の可能性を感じさせてくれました。これからも継続して、いや、もっと成長して、最高の学年になっていきます。応援よろしくをお願いします。



○校外スポーツ研修

2年生



4月14日（金）、2年生は、スポガ久留米でのアイススケート体験と、石橋文化センターや青少年科学館などでの自由研修に参加しました。午前と午後、2クラスずつ入れ替わりでの体験でしたが、初めてスケートを体験する生徒もおり、日頃学校では見ることのできない素顔を垣間見られた有意義な時間となりました。天候には恵まれませんでしたが、友人と協力して行動する中で、生徒たちの笑顔がたくさん見られました。学校行事において、現地集合という経験も初めてであり、移動手段や時間管理に関して計画性が重要だと気づいた生徒も多かったようです。秋に実施される修学旅行に向けて、今回の学びを活かし、計画を立てて欲しいと思います。



○太宰府研修

3年生

4月14日（金）に、3年生は太宰府に校外研修に行ってきました。九州国立博物館に到着後、4階の展示スペースを見学した後、生徒たちは自由に散策を行いました。途中から雨が降り、傘をさしながらの移動は大変でしたが、博物館の展示物に授業で習ったことを発見したり、太宰府天満宮での祈願や、趣のある参道の雰囲気を楽しんだりなど、有意義な時間を過ごしました。また、コロナ禍以前に戻りつつある太宰府の活気にも刺激を受けたようでした。

校外での研修は2年次の修学旅行以来で、時間やマナーを守るなど、福島高校の生徒として自覚ある行動ができていました。この研修で学んだことや思い出を胸に、最上級生として模範的な学校生活を送り、各自の夢に向かって進路実現に邁進してくれることを願っています。

